



## アフリカ諸国の漁業職員が資源管理を研修

9月18日に当場でアフリカ諸国の8か国9名の国家漁業職員が資源管理に関する研修を受けました。

この研修は(独)国際協力機構による特別研修の一つで、当場職員がキンメダイとイセエビの資源管理における研究活動と取組みを紹介しました。

フランス語の通訳を介しての研修でしたが、研修員は非常に熱心で、限られた時間の中で多くの質問がありました。この研修が自

国の水産業に生かされることを期待します。



研修参加者と当場職員

【解説】 資源管理とは：水産資源を一定の水準に保つため、漁具、漁法、漁場などの制限を行い、合理的に資源を利用すること。  
イセエビの場合は静岡県漁業調整規則でイセエビの産卵期である5月15日から9月15日までを禁漁とし、繁殖保護を図っている。また、成熟前の小型個体を保護するために漁獲制限体長(体長13cm以下は獲ってはいけない)が定められている。

## 全国農村サミット2014 in静岡県下田市が開催

9月3日に、水産業や農業の関係者による一次産業の生産を通しての伊豆地域の振興策についてシンポジウムが行われました。

当場からは、水産物は伊豆に人を呼ぶ重要な資源であることや、キンメダイの価値を高める取組みの重要性について講演を行いました。

また、パネルディスカッションに参加した若手漁業者から、出荷等の工夫を重ねて頑張っていることが紹介されました。



パネルディスカッション

## イセエビ漁解禁と漁獲物調査

イセエビの刺網漁が9月16日に解禁となりました。

イセエビを対象とした漁場造成が県の事業として行われており、当場では造成した漁場へのイセエビの集まり具合や漁獲に対する効果を把握するために、イセエビを測定しています。



イセエビ測定の様子→

### 10月の予定

- ・アワビ類の稚貝の生態を明らかにするために、幼生放流実験を行います。
- ・県東部地区漁業士と県行政との意見交換会が10月17日に東伊豆町役場で開かれます。
- ・伊豆地域水産業再生委員会による浜の活力再生プランの策定が始まります。

**当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。**

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話 0558-22-0835  
アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu